

平成22年度 事業計画(案)

近年の日本経済は世界的経済不況が響き、旅行費用の低額化や旅行形態が益々多様化してきており、日本国内の観光産業は依然として厳しい状態が続いております。

能登半島は高齢化が進み、定住人口が減少しておることから、交流人口の拡大に向け、地域との連携や地域独自の文化が組み込まれた「着地型観光」の推進に向け、他の地域と比較し、競争力のある魅力ある能登半島の形成に努めてまいります。

平成22年度の実業計画にあたっては、「能登半島地震復興イベント事業」においては、「能登ふるさと博」を更なる集客力あるイベントに仕上げていき、「誘客促進事業」では、能登空港の利用促進の強化を始め、北陸新幹線金沢開業を見据えた首都圏への誘客促進に重点的に取り組むこととしております。「観光基盤整備事業」では、能登にある観光資源を磨き上げ、特色ある能登を強調し、「協会の組織強化」では、正副理事長を中心に能登の将来を築き上げるためのビジョンの策定を行います。

尚、本年は五年に一度の国勢調査年です。従来より国勢調査年を会費見直しの年としておりますので、国勢調査の数字が出次第その準備作業にもかかります。

本年度において計画・予定している事業の概要については、次のとおりです。

I 能登半島地震復興イベント事業

1. 「能登ふるさと博」事業
 - (1) イベント開催(「能登半島海釣り大会」、「能登秘宝巡り」など)
 - (2) 情報発信・広報活動

II 誘客促進事業

1. 集客促進事業
 - (1) 能登空港利用促進キャンペーン
 - (2) ほっと石川キャンペーン事業・三大都市圏誘客1000万人構想事業との連携
 - (3) 観光行事・記念事業イベントの実施(主催・共催・後援)
2. 観光宣伝事業
 - (1) 新聞・雑誌、インターネット、パンフレット・印刷物製作などによる情報発信
 - (2) 観光関係者(雑誌記者、旅行作家など)への情報発信
 - (3) ねんりんぴつく石川2010参加者などへの情報発信
 - (4) 北陸新幹線開通(2014年度)に向けた情報発信
 - (5) 能登空港チャーター便歓迎イベントの実施
 - (6) 能登の旅情報センターの活用
3. 旅行会社訪問・宣伝事業
 - (1) 旅行商品説明会への出向宣伝
 - (2) 現地研修・視察における情報提供
4. 教育旅行関係誘致事業
 - (1) 学校関係者・関係機関などへの出向宣伝
 - (2) 第24回全日本学生釣り選手権大会の開催
 - (3) 大学生合宿・ゼミ旅行などの誘致

5. 外国人誘客事業
 - (1) VJC(ビジットジャパンキャンペーン)事業との連携
 - (2) ほっと石川キャンペーン事業・海外誘客促進事業との連携
6. 能登フィルムコミッション事業
 - (1) 映画製作・テレビ取材への協力
7. 能登キリコ祭り行事支援事業
 - (1) イベント助成
8. 能登空港二次交通運行支援

Ⅲ 観光基盤整備事業

1. 観光資源の開発保存
 - (1) 着地型旅行商品の推進
 - (2) 「妙成寺五重塔を国宝にする会」の推進
 - (3) 「能登のキリコ」国・県指定文化財の検討
 - (4) トキ分散飼育地運動
 - (5) 能登の森づくり、赤松林植樹運動
 - (6) 能登半島・七尾湾釣り堀構想の推進
 - (7) 能登有料道路無料化、JR 七尾線・のと鉄道七尾線対策の検討
 - (8) 観光長期ビジョンの策定
 - (9) 二次交通運行体系の調査
2. 中央省庁・県支援事業
 - (1) 「能登半島観光圏」認定に伴う事業の推進
 - (2) 新規事業への応募・申請

Ⅳ 協会の組織強化

1. 総会、幹事会、部会の活性化
 - (1) 広報活動の強化(会員の情報収集、及び情報発信)
 - (2) 会員組織のネットワーク化
 - (3) 観光長期ビジョン策定の委員会設置
2. 講演会・セミナー・シンポジウム、研修会などの開催
 - (1) 研修・視察旅行計画
3. 新規会員募集
4. 法人化の検討
5. 会費の見直し作業(国勢調査年)